

# 学校とご家庭が ともにこどもを支えるために

— 教職員とのよりよい関わりについて —



日頃より、学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。  
学校は、こどもたちを支える場所であると同時に、保護者の皆様と一緒に悩み、ともに解決を目指す「子育てのパートナー」でありたいと考えています。

こどものことを思うからこそ、不安や戸惑い、つらさを感じる場面もあると思います。  
そうしたお気持ちを大切に受け止めながら、学校とご家庭が同じ目線で話し合い、協力して進めることが、こどもにとって最も大きな支えになります。

## 学校が大切にしていること

- ❁ こども一人ひとりの気持ちと背景に丁寧に向き合います
- ❁ 保護者の思いや不安を、真摯に受け止めます
- ❁ すぐに結論が出ないことも、継続して粘り強く取り組みます

### いじめに関すること(特に大切にしたいお願い)



いじめに関する事案は、関係するすべてのこども・保護者にとって、強い不安や苦しさを伴う非常に繊細な問題です。

学校は、こどもの安全と心を守るために、状況確認・聞き取り・環境調整・見守りなど、段階を踏んで進めています。時として解決までに時間がかかる場合もありますが、保護者の皆様と情報を共有しながら、ともに最善を探していきます。

# よりよい話し合いのためにご配慮いただきたいこと

学校とのやり取りの中で、次のような関わりは、意図せずとも教職員に大きな負担を与え、話し合いを難しくしてしまうことがあります。

## ご配慮いただきたい例

- ☑ 教職員を呼び捨てにするなど、強い言葉や敬意を欠いた表現 
- ☑ 電話や対面での話し合いを学校側に伝えないまま録音すること  
(申し出ていただければ、録音に応じます。また、学校側も正確な話し合いの記録を残すために録音をお願いする場合があります。)
- ☑ 学校では判断や対応が難しい事案（学校外や SNS 上でのトラブル）の解決を求めること（一緒に解決の道筋を探ることはできますが、学校は捜査機関ではなく、事実関係の確認等はできません。）
- ☑ いじめ等の問題で、学校が取り組んでいる途中段階で、すべての責任を学校に求めて強く非難すること
- ☑ 不安や怒りが強い状態で、繰り返し説明や即時の対応を求めること
- ☑ 事実に基づかない噂の流布や SNS 等での誹謗中傷 
- ☑ 業務時間を大幅に超えた時間帯に連絡が続くこと

※保護者の方の思いを否定するものではありません。ただ、感情が高ぶったままのやり取りは双方にとってつらくなり、結果としてこどものための解決が遠のくことがあります。

学校と保護者は、立場は違っても「子育てのパートナー」です。

教職員が安心して子どもたちに向き合える環境は、丁寧な支援につながります。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

なお、不安や疑問があるときは、どうか一人で抱え込まず、学校や教育委員会にご相談ください。